

胆道閉鎖症における肝線維化と免疫反応の経時的変化に関する研究

1. 研究の対象

1980年1月1日から2023年12月31日の期間に出生した当院を受診されている胆道閉鎖症の方。同期間内に出生し当院を受診されている肝疾患の方。

2. 研究目的・方法

目的

胆道閉鎖症は生後直ぐ発症する進行性の病気であり、過半数が将来的な肝移植手術を必要とします。肝移植後にも再び線維化が進行することもあり、その原因は明らかになっていません。

胆道閉鎖症における肝線維化と関連する免疫反応の経時的変化に着目し、胆道閉鎖症の病態解明および新規の治療法を探究することを目的とします。

方法

診療録より下記情報の抽出および、血液、肝臓、胆嚢胆管組織検体の解析を行います。研究期間は2030年3月31日まで、利用又は提供を開始する予定日は2024年1月とします。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：発症時期、初回手術日齢、手術方法、術後経過、肝移植有無、等

試料：血液、肝臓（肝生検にて採取）、胆嚢胆管組織（手術時に採取）

4. 外部への試料・情報の提供

該当しません。

5. 研究組織（利用する者の範囲）

大阪大学医学部附属病院 小児成育外科 上野 豪久

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

大阪大学医学部附属病院 小児成育外科（大阪府吹田市山田丘 2-15）

研究責任者／研究代表者：上野 豪久

連絡先：06-6879-3753